

学校教育自己診断の集計結果について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。また、平素は本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。さて、12月に保護者の皆様のご協力を得まして、学校教育自己診断のアンケートを実施することができましたことを心よりお礼申し上げます。ここに「学校教育自己診断」の集計結果がでましたのでご報告申し上げます。今回の結果は、今後の学校運営に生かしていきたいと考えております。ここでは結果が顕著な項目についてご報告させていただきます。

児童の集計結果について**〈1〉「学習面において」**

主体的で対話的な深い学びの実現に向けて、本校では昨年度から「考えや思いを相手に贈れる子ども」をテーマに研究を進めました。「授業はわかりやすく楽しい」という項目では、88%の児童が「はい」12%が「いいえ」と回答し、肯定的回答率が30%増加しています。引き続き、授業について校内外での研究、研修に励み学校全体として授業力向上に取り組んで参ります。「授業中や話し合いで手を挙げて発表したり話したりしやすい」という項目では77%の児童が「はい」、23%が「いいえ」と回答しています。これらの点をしっかりと受け止め、昨年度からの研究テーマのもと研修を重ね、子どもの思いに寄り添い、一人ひとりの子どもに応じた指導と授業改善、クラス運営を図って参ります。「学校の宿題はいつもしますか」の項目で、92%の児童が「はい」と回答しています。引き続き学級での細やかな指導と家庭との連携を密にし、習慣づけることで家庭学習充実を図って参ります。「家で読書をする時間はありますか」という項目では肯定的回答率が74%と昨年度より増加しています。今後も放課後図書室の開放など、本に触れる機会をさらに増やせるよう取組を進めて参ります。「家で勉強をする時、自分ですることを決めて学習する時間はありますか」という項目では、78%の児童が「はい」と回答しており昨年度より肯定的回答率が24%増加しています。家で進んで学習をしている様子を家庭でも認めていただけるとありがたいです。

〈2〉「学校生活において」

「学校に行くのが楽しいですか」という項目では86%の児童が「はい」14%が「いいえ」と回答し、昨年度と比較して肯定的な回答率が22%増加しております。「学校行事(運動会・音楽会など)は楽しいですか」の項目では88%の児童が「はい」と回答し、昨年度より肯定的な回答率が11%増加しています。対面の行事や他学年との関りが増えたことにより、達成感や充実感が高まったからではないかと考えられます。学校生活において子どもが日々の授業や行事において、お互いが認め合い、絆を感じ取れる場面を作っていくよう取り組んで参ります。「困ったことや、心配なことを話しやすい先生がいますか」という項目では82%の児童が「はい」と回答し、昨年度より17%増加しています。デイケンなどのツールを活用したことにより児童が悩みを伝えやすくなったと考えられます。「学校や授業のルールを守っていますか」の項目では、87%の児童が「はい」と回答し昨年度に比べ26%増加しております。年間を通して吹三いろは(学校のルール)の検討を職員全体で行い、規範意識向上のために、目指す子ども像に沿った学習面と生活面の月目標を提示することで意識向上を図ってきました。今後もルールの改善や検討を職員全体で取り組み一貫した指導に努めて参ります。

〈3〉「家庭生活において」

「7時まで起きていますか」という設問に対して、76%が起きているという実態が分かりました。昨年度より18%増加しているにもかかわらず遅刻は多く見受けられます。「毎朝、朝ごはんを食べていますか」の設問では、95%が肯定的な回答をしています。昨年度より9%増加しています。生活習慣や生活のリズムについては、高学年では家庭科、保健の授業、低学年では、生活科の授業で学習しますが、家庭との連携が不可欠です。子どもたちに基本的な生活習慣をつけるため、ご家庭でのご協力を引き続きお願いいたします。

保護者の集計結果について

〈1〉「学校運営に関すること」

「学校は保護者が授業を参観する機会をよく設けている」の項目では、93%が肯定的な回答をしてくださいました。感染症拡大の影響による制限が緩和された影響から向上したと考えております。「学校が保護者に出す文章や事務連絡などはわかりやすい。」の項目では78%が肯定的な回答をしてくださいましたが、昨年度より9%増加した22%が否定的な回答をくださいました。新たな制度やシステムの変化にともない、内容が複雑になっていることが考えられます。簡潔な内容にすることを心掛けるとともに、連絡方法についても整理を図って参ります。「学校は、保護者や地域の人々と話をする機会を多く持っている」の項目では肯定的回答が73%に増加しています。懇談の機会が増え、地域行事も実施されたことの影響が大きいと考えております。ただ、否定的回答も27%と増加していることから、学校行事や懇談以外でも保護者の皆様とつながるための方策を検討して参ります。

〈2〉「保護者ご自身に関すること」

今年度は、さくら連絡網の導入もあり「メール配信を気にかけて見ている。」の項目では92%の保護者が気にかけてくださっていることに感謝申し上げます。しかし、学校ホームページやブログはあまり見ていただけていない結果が出ておりますので、メールやホームページを活用し、情報発信をして参ります。「授業参観によく参加している。」の項目では92%が肯定的な回答をくださいました。今後も保護者の皆様が学校に足を運んでいただける機会を検討して参ります。

〈3〉「教育活動に関すること」

「子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている」という項目に対しては89%の肯定的回答をいただきました。学校に来るのを楽しみにしていると感じていただいていることをしっかりと受け止め、子ども達に向き合っていきたいと思えます。また、楽しみでないお子様に対しても、一人ひとりのがんばりや、良さを認め、安心して過ごせる学校生活を作っていくと考えております。「先生は、子どものがんばりを認めてくれている」「先生は、子どものことについての相談に適切に対応している」「先生は、子どものまちがった行動には厳しく指導してくれる」の項目に対しては肯定的回答率が高くなっています。これは学校での様子や学習についてご家庭でお子様と会話いただいていることで伝わっているのではないかと考えております。引き続き学校からの文書、返却されたテスト・学習ノートの点検など、ご確認いただきながら、お子様と会話いただきますようお願いいたします。「学校は学力向上の取組を積極的に行っている」という項目に対しては、昨年度より16%増加した75%の肯定的回答をいただきましたが、否定的回答率は昨年度より19%増加した25%となっております。これらの点をしっかりと受け止め、今後も、研修を重ね、一人ひとりの子どもに応じた指導と授業改善を図って参ります。

〈4〉「自由記述欄」

自由記述欄による「学校をよくするためのご提案」には、様々な意見がありました。紙面の都合でご意見の全てを紹介することはできませんが、内容としましては次のようになります。

- ・児童への指導に関すること
- ・学校行事に関すること
- ・人とのつながりに関すること（教員・子・保護者）
- ・教室環境について
- ・少人数学級の実施について
- ・学校施設面に関すること
- ・情報教育について
- ・学校と家庭との連絡について
- ・タブレットの活用について
- ・学校からのお知らせについて
- ・学習評価について
- ・教育相談について
- ・教職員の体制について
- ・学習環境について等

一つひとつのご提案に対しましては、全教職員が真摯な気持ちで受け止めさせていただきます。また、そのご提案についてしっかりと考え、そして、本校の教育活動がよりよいものになるよう、教職員一丸となって努力して参りたいと考えております。

今回のアンケートは「どちらでもない」の回答を設定しなかったことから昨年度と同じ条件での比較はできませんが、今回、保護者の皆様からお寄せいただきました評価結果、子どもたちの声や姿を受け止め、学校・家庭・地域のつながりを大切に、安心して学べる学校、よりよい学校作りへと生かして参ります。これからも、本校教育活動に対しまして、温かいご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。